

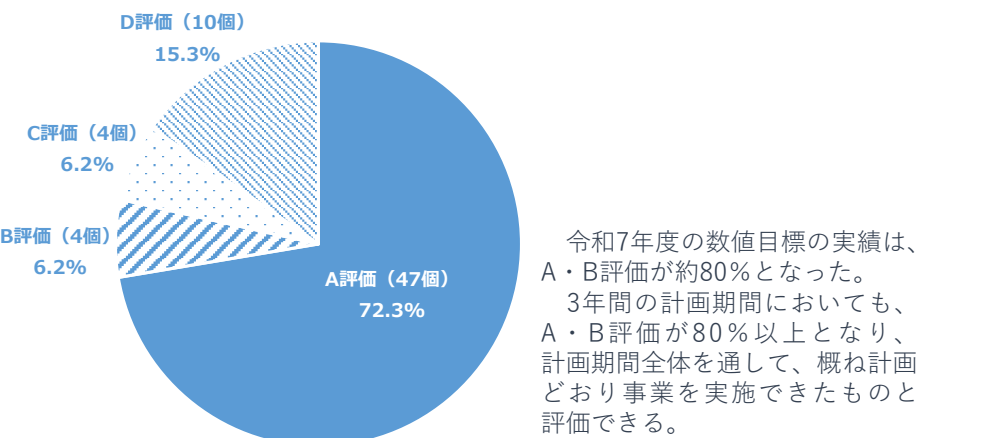
1 第三次基本計画 実施計画について

- 第三次基本計画におけるまちづくりの目標である「**具体的な対策で 持続可能な未来につながる まちづくり**」を実現するために、具体的な事業を定める**実施計画**を策定し、各事業の進捗を管理。
- 実施計画の計画期間が満了したことから、**重点課題対応事業**ごとに設定されている**数値目標**を用いた**事業の評価**と併せて、**施策分野**ごとに設定されている**評価指標**を用いた**施策の評価**を行う。

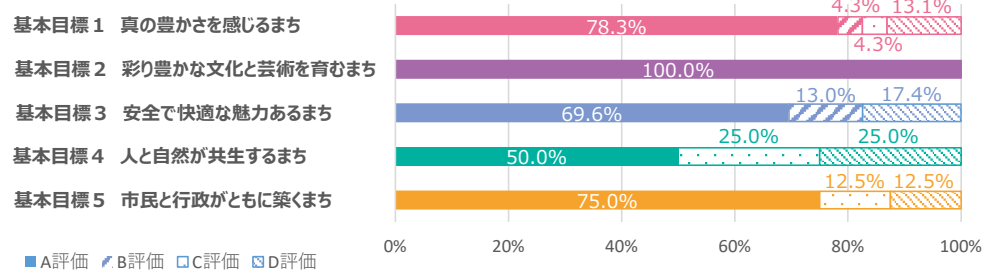
2 事業の評価について

- 重点課題対応事業ごとに設定された数値目標【65目標】の達成度を A～Dに評価。
※一部、数値目標の設定がない重点課題対応事業あり。
- 数値目標の達成度及び計画事業費と決算額の比較により、進捗状況を把握。

(1)数値目標の達成度



基本目標別



(2)執行割合（計画事業費と決算額の比較）

計画額（千円） a	決算額（千円） b	執行割合（%） b/a	執行割合 80%未満
20,901,605	21,576,819	103.2	17事業

(3)A評価となった主な事業（110点以上の評価となった16事業）

No.	事業名	目標の指標
1	健康寿命延伸事業	体組成測定機器等利用人数
2	産後ケア事業	支援件数
3	予防接種事業（帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成）	助成件数
4	保育園整備計画事業	保育施設整備数
12	障がい者就労支援事業	相談件数
16	ゴールドシニア事業（チケット75）	交付件数
31	避難所環境整備事業	蓄電池及びLEDパルーンライトの整備箇所数
40	都市計画道路整備事業	各年度の工事件数
41	コミュニティバス運行事業	採算率
43	あんしん住宅推進事業	補助件数
50	デジタル地域通貨推進事業	デジタル地域通貨利用者総数
52	都市農業振興支援事業	補助件数
65	イラスト・デザイン制作事業	広報物のデザイン支援数
66	政策プロモーション事業	動画の制作数
67	自治会コミュニティ活動支援補助金事業	補助件数
68	いちかわ市民活動サポート制度事業	講座の開催回数

(4)C評価となった事業（4事業）

No.	事業名	数値目標	C評価となった理由
11	重層的支援体制の整備	相談支援機関等から多機関協働事業につながったケース数	多機関協働事業ではなく、適切な相談支援機関へつながることができるなど、相談支援の質の向上が図られたことによるもの。
60	省エネルギー家電導入促進事業	デジタル地域通貨還元件数	1件当たりの還元単価が当初の見込みを上回り、計画値に達する前に予算上限に達したことによるもの。
61	市民マナー条例の推進	市民マナー協力団体の数	協力団体の解散などにより、登録団体数が減少したことによるもの。
69	デジタル技術を活用した業務改善	RPAの導入業務数	業務効率化ツールを安定的に利用するため、既存導入業務のマニュアル整備などノウハウの蓄積を優先的に行ったことによるもの。

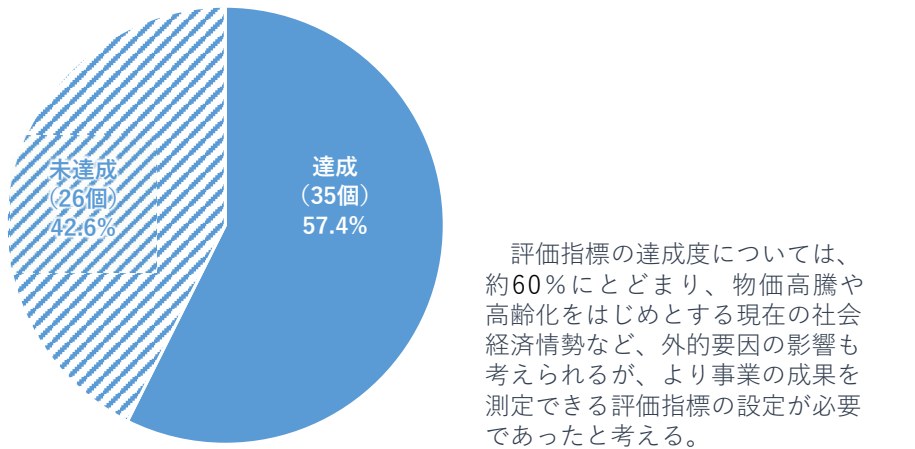
(4)D評価となった事業（10事業）

No.	事業名 ・ 数値目標			D評価となった理由
6	子どもの居場所づくり支援事業			周知・啓発活動は行っているものの、物価高騰等の影響により、店舗からの協力を得ることが困難であったことによるもの。
	フードリボン 実施店舗数	計画値 60店舗	実績値 20店舗	
9	新婚生活住まい応援補助金			人口動態、就業構造基本調査などにに基づき、計画値を設定したものの、令和7年度に開始した事業であるため、実績に基づく計画値を設定することができなかったことによるもの。
	補助件数	計画値 360件	実績値 176件	
25	若年者等就労支援事業			相談拠点は2拠点あり、相談者の居住地によって振り分けている。計画値として設定している拠点への振り分けが少なかったことによるもの。
	就職相談件数	計画値 90人	実績値 55人	
36	防犯用品等導入促進事業			令和6年10月に市内で発生した強盗事件直後に高まった市民の防犯意識が、時間の経過に伴い低下したことによるもの。
	デジタル地域通貨 還元件数	計画値 1,650件	実績値 532件	
45	空家対策事業			接道要件を満たしていないことや所有者の相続が複雑なことなど様々な要因で除却等の空家の解消に時間を要している物件があったことによるもの。
	空家等の除却数	計画値 110件	実績値 75件	
47	公共施設への再生可能エネルギー等導入事業			各施設の所管課にヒアリングを行い、計画値を設定したが、詳細な調査を実施した結果、建物の構造等により施工ができないことが判明し、当初の見込みを下回ったことによるもの。
	実施施設数	計画値 10施設	実績値 4施設	
48	斎場施設整備事業			近隣住民の意見を踏まえ順次整備しており、工事の前倒しや追加工事などを行いながら整備を進めていたことによるもの。
	斎場整備の 進捗状況	計画値 仮設斎場の建設 既存斎場の解体	実績値 既存斎場 （車庫棟）の解体	
56	水辺のまちづくりの推進			悪天候により、当初予定したイベントを開催できなかったことによるもの。
	水辺に関する イベントの参加者	計画値 1,400人	実績値 840人	
57	省エネ・創エネ普及促進事業			補助要件を見直し、補助件数の増加を見込んだものの、当初の見込みを下回ったことによるもの。
	補助件数	計画値 12件	実績値 3件	
62	遠隔相談窓口システム事業			広報を実施したものの、令和7年度に開始した事業であるため、実績に基づく計画値の設定することができなかったことや、事業開始が遅れたことにより、当初の見込みを下回ったことによるもの。
	利用件数	計画値 140件	実績値 6件	

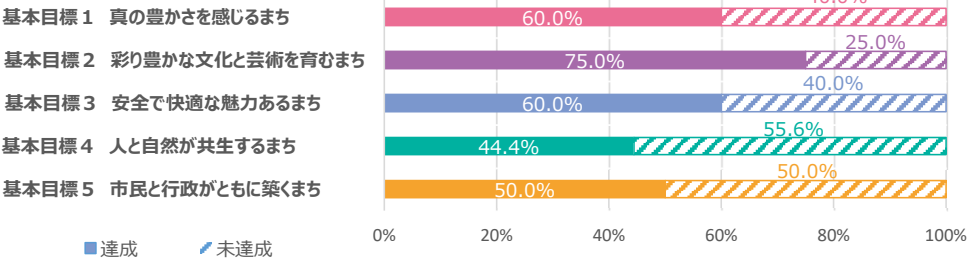
3 施策の評価について

●施策分野ごとに設定された評価指標【61指標】を達成/未達成に分類。
※一部、評価指標の設定がない施策分野あり。

(1)評価指標の達成度



基本目標別



(2)未達成となった指標（26指標）

1/3

No.	事業名 ・ 目標			未達成となった理由
4	近所づきあいの程度 (近所に世間話をできる程度の人がいる割合)			1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、核家族世帯の増加といった世帯構造の変化により、自治会加入世帯数の減少など地域のつながりが希薄化していることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	60%	70%	50%	
6	サロン参加人数			コロナ禍前の参加人数まで増加させるという目標を設定したものの、新設されるサロン数が当初の見込みを下回ったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	6,874人	40,000人	31,055人	
8	シニアカレッジ修了後の自主サークル移行割合			講師の高齢化に伴い、市主催講座であるシニアカレッジから自主サークルへの転換を十分支援することができなかったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	50%	80%	56%	

(2)未達成となった指標（26指標）				2/3
No.	事業名 ・ 目標			未達成となった理由
10	自立支援の結果、変化が見られた割合			支援対象者が抱える課題によっては、自立に向けた変化が見られるまで時間を要することによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	96%	100%	98%	
11	長寿命化計画に基づく大規模改修実施の棟数			現地調査の結果、緊急性が低いと判定された団地について、改修を見送ったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	3棟	6棟	4棟	
14	地域にある学校を支援する活動に参加したいと思う人の割合			高齢化のほか、共働き世帯の増加に伴う時間的制約により、支援活動への参加がしにくい状況であることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	43%	60%以上	44%	
15	教職員のデジタル教科書使用率			デジタル教科書の実践例を提示するなど活用の促進を図ったものの、従来の指導法が定着している中、活用への不安感や操作スキルに個人差があることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	53%	90%以上	64.6%	
19	LGBTQ+理解促進に関する啓発活動の参加人数			講師を依頼していた当事者団体が活動を休止したことにより、講座の開催回数が当初の見込みを下回ったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	53人	↗	50人	
22	文化的資産の名称、位置を知っている市民の割合			市公式Webサイトにおける文化財の紹介や、下総国府のVR・AR体験など、文化的資産の周知を図っているものの、浸透までに時間を要することによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	21.4%	40.0%	21.5%	
31	自主防犯活動実施率			自治会員の高齢化に伴い、参加者が減少し、活動も縮小傾向にあることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	74%	84%	67.6%	
32	以前に比べて市川市の治安を良いと感じる市民の割合			令和6年10月に市内で発生した強盗事件の影響により、治安に対する市民の不安が高まったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	35.6%	45.6%	30.4%	
34	都市計画道路整備進捗率			工事箇所にある水道管工事に遅れが生じ、計画期間中に工事の全工程を完了することができなかったことに加え、都市計画道路の見直しによって一部区間が廃止となったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	60.25%	60.78%	60.21%	
36	経費回収率			コロナ禍や物価高騰などの社会情勢の影響を受け、使用料の改定率を引き下げたことで、収入が減ったほか、県負担金の増額や企業債利息の増加等により、支出が増加したことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	99.61%	100%以上	91.32%	
39	PPA事業による公共施設における二酸化炭素排出削減量			「公共施設への再生可能エネルギー等導入事業」において、当初見込んでいた実施施設数を下回ったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	—	1,672t-CO2/年	330t-CO2/年	
41	地元の商店街でよく買い物をする市民の割合			イベントなどの開催により利用促進を図ったものの、インターネット通販や大型商業施設の利用増加により、商店街の利用機会が減少しているもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	47%	↗	38.4%	

(2)未達成となった指標（26指標）				3/3
No.	事業名 ・ 目標			未達成となった理由
43	水揚げ量			海水温の上昇や青潮の発生の影響を受けたことや、漁業従事者が減少していることなどによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	1,039トン	↗	515.7トン	
44	漁業従事戸数			漁業従事者の高齢化や水揚げ量の減少などに伴い、担い手が減少していることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	75戸	↗	71戸	
45	確認された生物の種類			生態系全体に大きな変化は生じていないものの、外来生物などの増殖により、一部の生物が減少したことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	23種	↗	19種	
46	自然環境講座の参加者数			令和4年度の実績を踏まえて目標を設定したものの、講師の都合などにより開催回数が減少したことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	165名	200名	90名	
47	公園の面積			大規模な公園を整備するための土地の確保が難しく、整備が進まなかったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	103.31ha	107.80ha	103.83ha	
48	都市緑地の面積			都市開発が進む中で、新たな緑地の確保ができず、既存の緑地の維持管理にとどまったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	76.41ha	76.66ha	76.41ha	
52	まちがきれいになったと感じる市民の割合			高齢化や地域のつながりの希薄化に伴い、地域で清掃活動する担い手が減少していることによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	51.3%	↗	34.2%	
57	自治会加入世帯数			核家族世帯の増加といった世帯構造の変化により、地域のつながりが希薄化し、自治会活動に無関心な世帯が増えたことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	133,630世帯	134,000世帯	130,606世帯	
59	デジタル技術を活用し、業務改善を行った業務			RPA及びAI-OCRは、所管課において業務フローを構築する必要があり、導入するハードルが高かったことによるもの。また、定例会的な会議は既にAI議事録を導入しており、新規の利用が増えなかったことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	RPA : 30業務 AI-OCR : 21業務 AI議事録 : 431件	RPA : 90業務 AI-OCR : 60業務 AI議事録 : 520件	RPA : 69業務 AI-OCR : 43業務 AI議事録 : 496件	
60	作業の自動化等により効率化した時間			導入した業務効率化ツールを安定的に利用するためのノウハウが所管課に蓄積されるまでに時間を要することによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	RPA : 3,600時間 AI-OCR : 2,900時間 AI議事録 : 1,200時間	RPA : 10,000時間 AI-OCR : 8,200時間 AI議事録 : 1,400時間	RPA : 5,385時間 AI-OCR : 2,904時間 AI議事録 : 1,411時間	
61	システムの標準化を完了した業務数			事業者のリソース不足の影響を受け、システム移行に遅れが生じたことによるもの。
	計画策定時	目標	実績値	
	0業務	20業務	5業務	